

徳島県木造住宅 推進協議会の歩み

木の家をつくり人を育てた四半世紀

徳島県木造住宅推進協議会の目指す姿

故郷の清流を遡れば、スギやヒノキが枝打ちや間伐を重ねながら健やかに育っている。成長した良質の県産材は、伐採され手を加えられつつ川下の町にたどり着く。木材に精通した設計者が消費者の要望に応えた質の高い木の住まいを描く。描かれた住まいは、この地の匠たちによってかたちを得ていく。山林では、はや林業家が植た木が青い芽を出している。

この過程に関わる全ての人々の心は誇りに満ち、自らの思い以上の木の住まいを得た人々は健やかで潤いのある日々を送る。ふるさととは、その住まいたちによって再び固有の伝統・文化を醸し出し始め、豊かで落ち着いたある景観がそこかしこで出現する。そして、山々は、濃い緑のベールをまとう。

全国に先がけて川上から川下までつなぐ組織をつくりました

徳島県木造住宅推進協議会は、次のような木造住宅に関わる幅広い分野の人たち（団体等）が集まって設立されました。当時このような組織が作られることは、全国でもほとんど例がありませんでした（昭和59年6月25日発足）。

- ◆ 木造住宅の建設に携わる団体（建設業を営む業界団体、大工技能者の所属する団体）
- ◆ 木造住宅の設計に携わる団体（建築士の所属する団体、設計事務所の所属する団体）
- ◆ 林業・木材関係団体（木の生産から加工・流通などに係わる業界団体）
- ◆ 関係行政機関等（徳島県、関係市町村、住宅供給公社、報道機関）
- ◆ 顧問としての有識者
- ◆ 賛助会員

● 徳島県木造住宅推進協議会会員（平成23年6月29日現在）

(社)徳島県建設業協会
フレッセ(全徳島建設労働組合)
徳島県建設労働組合
(社)徳島県建築士会
(社)徳島県建築士事務所協会
徳島県木材協同組合連合会
徳島県木材買方協同組合
徳島林業振興協議会
徳島県森林組合連合会
(社)徳島新聞社
徳島県住宅供給公社
徳島県県土整備部住宅課

徳島県農林水産部林業飛躍局次世代林業戦略室
徳島県立農林水産総合技術支援センター森林林業研究所
徳島市都市整備部建築指導課

阿南市	神山町
吉野川市	那賀町
阿波市	美波町
美馬市	牟岐町
三好市	海陽町
勝浦町	松茂町
上勝町	つるぎ町
佐那河内村	東みよし町

組織図



*この下部組織に「実行委員会」がある。

住まいづくりの全般に関する事業をてがけてきました

木造住宅を推進するためには、広範囲で多角的なアプローチが必要です。
徳島県木造住宅推進協議会は、住まいづくりという観点から多くの事業を展開してきました。

● 住まいの事始めシンポジウムの開催

- ◆ 基調講演：今、なぜ、時代は、木造か
- ◆ 討論テーマ：「山の木の話」「いい木の見分け方」「職人氣質今昔」「施主と工務店のつきあい方」「すべては満足できない家づくり」「家づくりの不安と期待」

● 地域適合型木造住宅の開発と建設（とくしまの家・120）

徳島にふさわしい木造住宅とはどういうものかについて考え、
地域の暮らしと固有の気候風土に根ざした住まいを提案、モデルとなる住宅の建設を行いました。

- ◆ とくしまの家・120 のポイント：

耐久性の高い大断面架構、高い技能に培われた合理的軸組工法、
使用木材は吟味された徳島杉、ライフスタイルに対応しやすい平面プラン、高い居住性

● 徳島県版標準仕様書の刊行（徳島県版木造住宅標準仕様書）

全国版である住宅金融公庫の仕様書をもとに、地域の実情や特性を生かした徳島県版の仕様書が作られました。

● その他木造住宅全般に関する調査研究 （とくしまんはうす研究会活動）

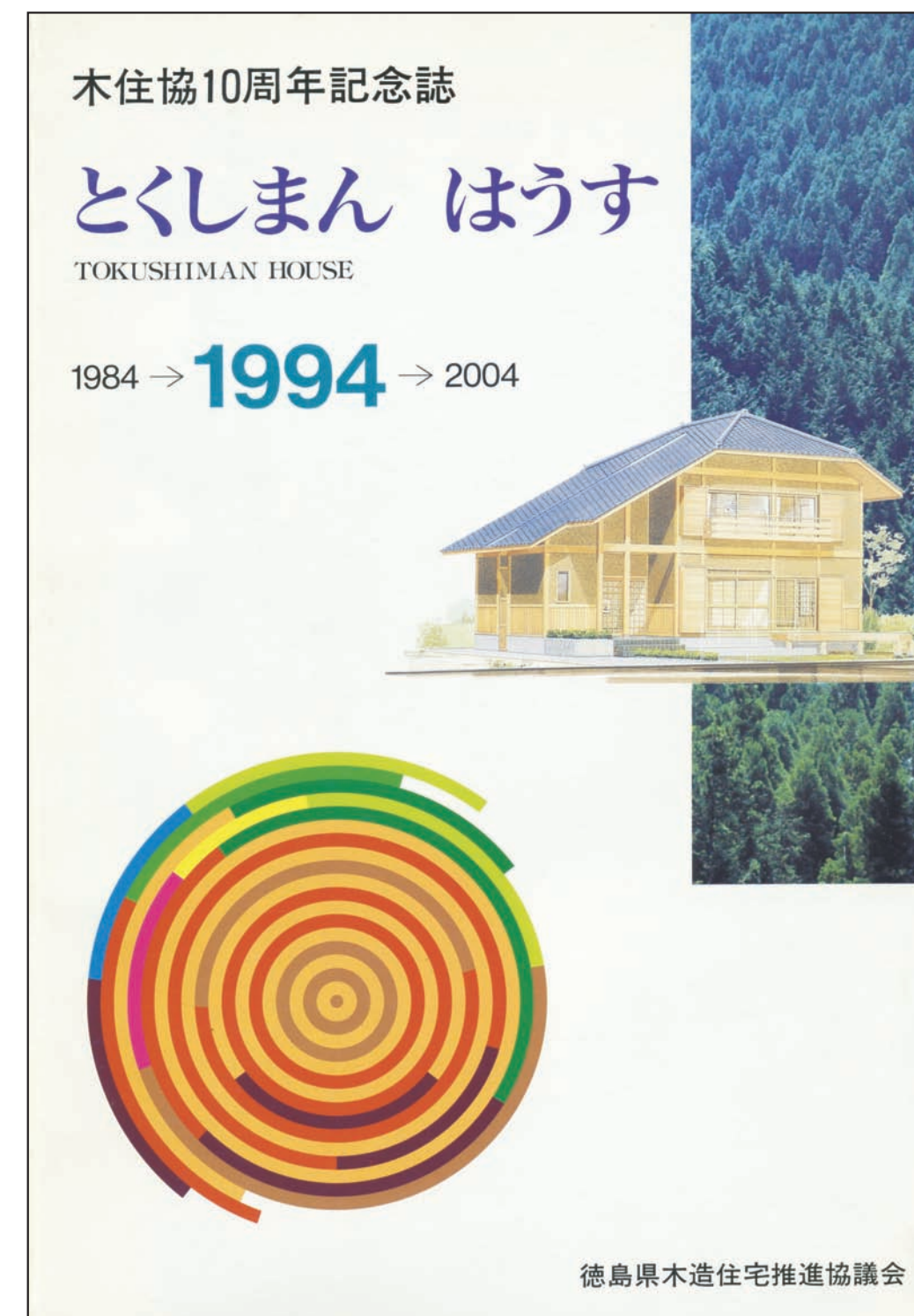
活動内容：
木造住宅の全工程に対応した見学会・研究会の開催、住宅に関する新しい動向についての研修会、レポートの発行、ホームページの運営

● 木造住宅の仕様と価格の適正化事業 （木造住宅仕様価格対照表作成の手引き）

木造住宅の工事金額の明確化を目的に、大工工務店向けに作成した手引き書。見積もりからパンフレットづくりまで実例をあげて示しています。

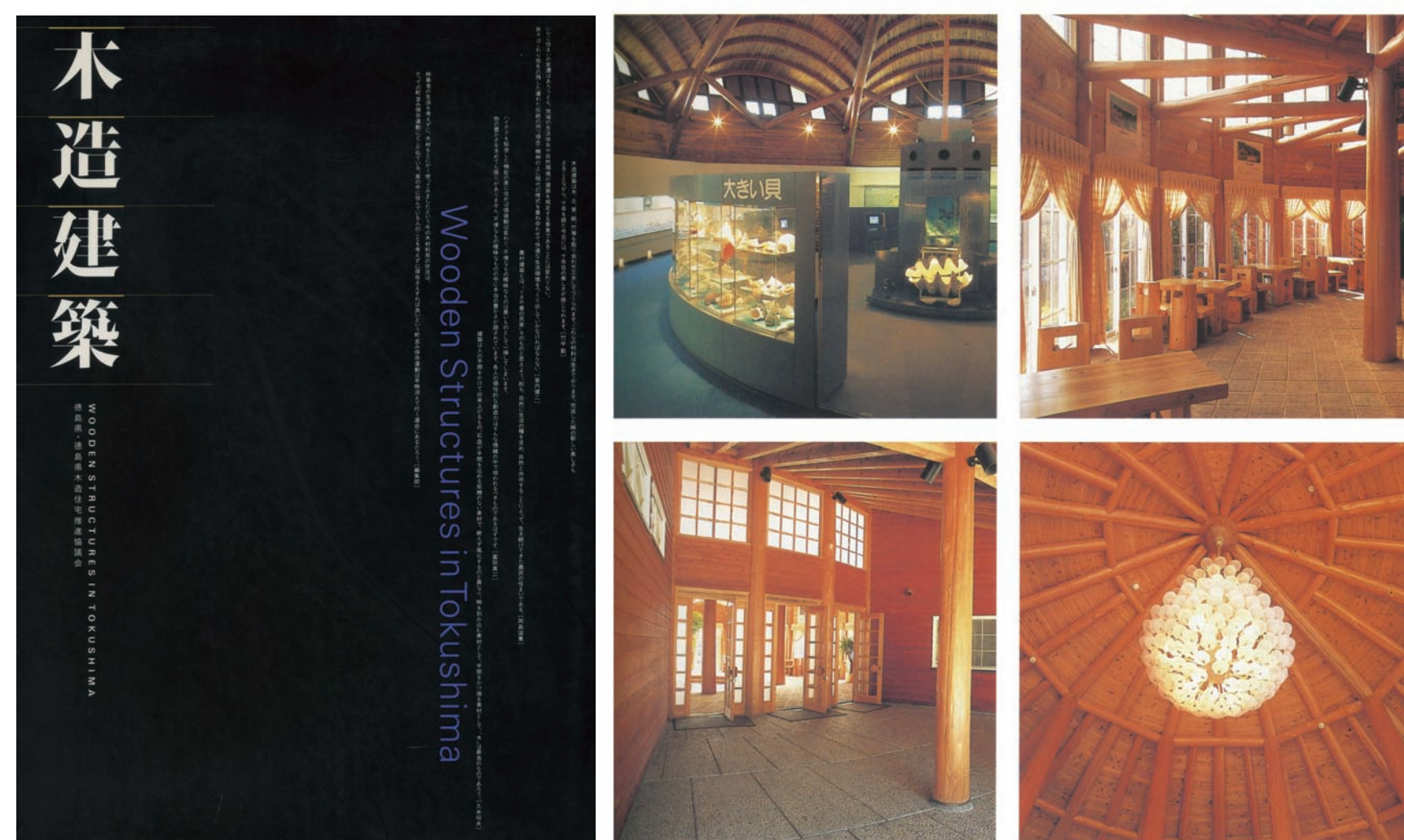
● とくしま木の住まいシンポジウムの開催

テーマ：
設計者から見た木造住宅
木造住宅の着工前の注意点
木造住宅の虫害対策と不燃化策
木造住宅の移り変わり
木の良さと利用促進
県産材利用の現状と今後の拡大策
三好地区における木造住宅志向
大工技能士の現状 - 訓練校の現場から
私の木造住宅論



● 木造住宅 PR 冊子の作成（木造建築物写真集「木造建築」）

県内で建設された木造建築の公共建築物 9 点、店舗 5 点、住宅 9 点を収録した写真集。



● 建築市場の調査研究

- 調査研究内容：
1. 建築市場パラダイムシフト四国大会への参加
 2. 研修会
（工務店設計事務所の現状、建築市場の概要、建築市場の構築手順）
 3. 説明会の開催
 4. 京都＆徳島 - 意見交換会の開催
 5. 京都＆徳島 - シンポジウムの開催
 6. かがわ建築市場の紹介
 7. かがわ建築市場への参加

● 地域木造住宅生産供給促進事業の実施 （丹生谷杉のまち協議会）

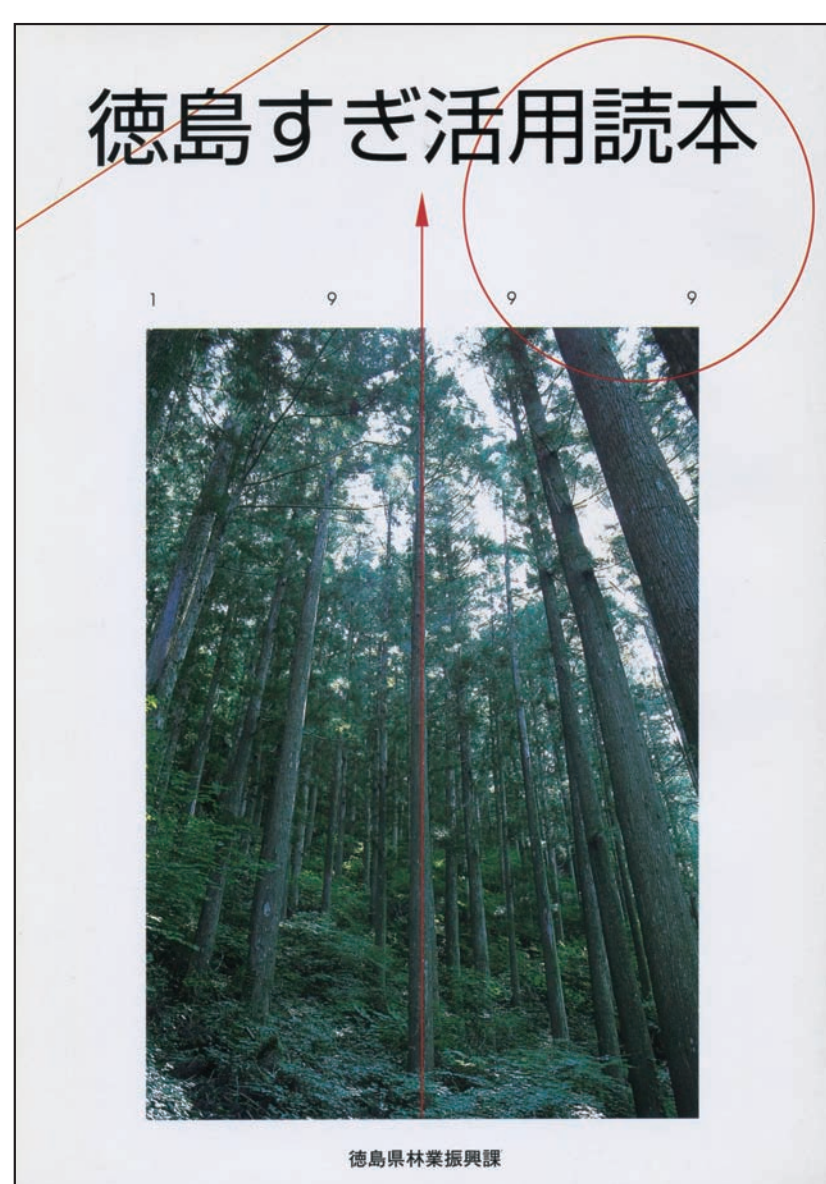
丹生谷地域を中心として木造住宅生産の仕組み作りを検討した事業。
川上（生産地）から川下（ユーザー）をつなぐ生産供給システムの検討、
地域適合型住宅の開発、木材需要拡大策などの研究を行いました。



徳島の県産木材の普及と 利用を促進してきました

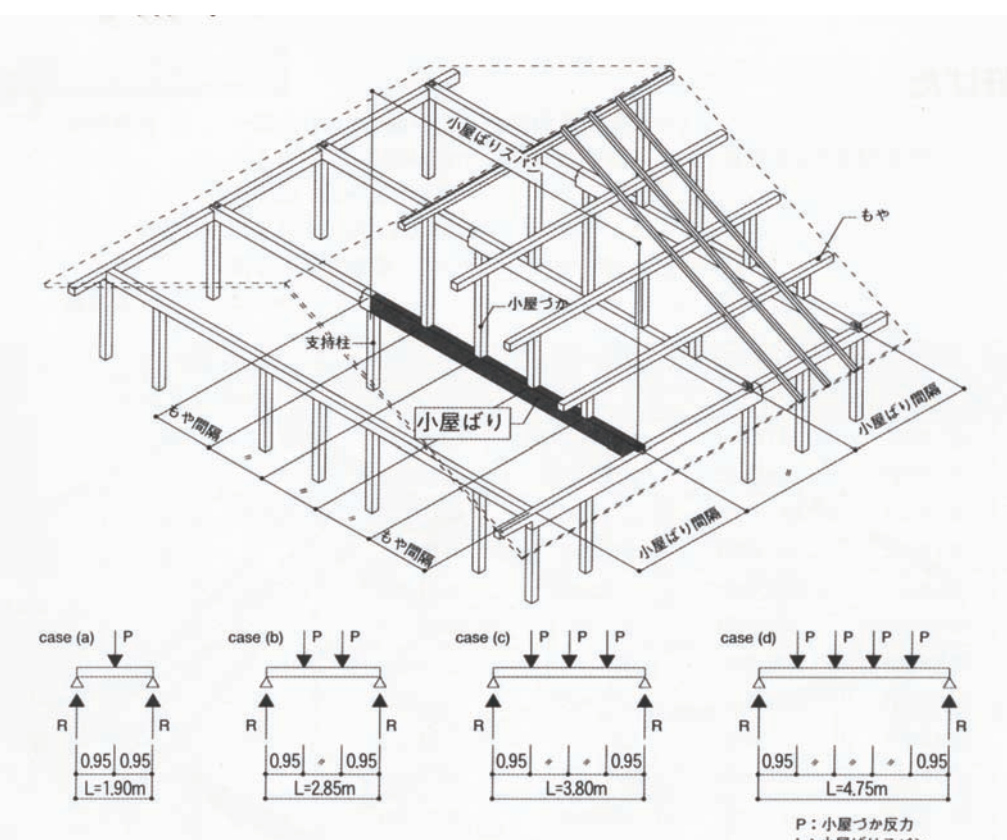
● 徳島すぎ活用読本の刊行（県木連）

林業普及指導員が木材についての知識を得ることを目的に作成されました。



● 徳島すぎスパン表の刊行（県森林林業研究所）

「徳島すぎ」を構造材として使用する際の利用方法について解説したもの。品確法における性能表示制度を受け刊行されました。



● 徳島県木材認証制度の推進

エンドユーザーに木材を安心して使用してもらうことを目的に設けられた制度。これにより木材や木製品の外観だけでは分かりにくかった「産地」や「品質」を知ることができます。

● 木材標準寸法、 価格表「とくしま木材カタログ」の刊行（県木連）

木の良さを伝えるとともに、土台や柱、造作材、フローリングといった部位別の木材を紹介するカタログが作られました。

● 県産材使用木造住宅モデルタイプの開発（県木連）

木造住宅に関する広範で総合的な内容のモデルを開発。モデルタイプは、アプローチの方向や家族構成、タイプ別による分類から多くのバリエーションが用意されました。



住まいづくりの担い手を育て顕彰してきました

● あっぱれ棟梁コンクール

徳島県内の大工技能者として高い技術を有し、若い大工の育成に貢献した棟梁を顕彰する制度。大工技能者の社会的評価を高めるとともに後継者の育成の促進を目的としています。1991 年から現在まで、64 名の「阿波の名匠」を輩出しました。

● 大工後継者育成等の検討

(徳島の大工事情・徳島の大工育成作戦)

これからの大工後継者育成策を検討するために、県内の大工技能者把握のアンケート、ヒアリング調査とそれらの分析をおこないました。

● 「とくしま木匠塾」の設立、運営

徳島県木造住宅推進協議会が中心となって設立した大工育成校です。大工技能者を志望する高校生などが県内の工務店に就職し、その企業の社員として在籍しながら研修を受けるという仕組みで、研修期間は 2 年。1995 年～2003 年まで開校し、8 期生まで卒業生を出しました。

● 大工技能継承テキスト「木の匠教本」の刊行

大工技能者育成のためのテキスト。とくしま木匠塾の講師が中心となって原稿を作り、授業でも使用しました。

● 木造建築スクールの開催

木造住宅の造り手側である設計者、施工者に対しての研修会。県内外から講師を招いて講演会等を行いました。
主な講師：建築家、大学教授、税理士、弁護士、デザイナー、写真家、研究者、実務者等。

● 大工・工務店の協業、共同化の調査研究

大工・工務店の協業、共同化に関する全国各地の先進事例、提案、助成制度、組合設立の手順等を調査し、県内での実効性を検討しました。



木造住宅の耐震化を推進してきました

徳島県において木造住宅の耐震診断、耐震改修を行う際の実施方法に関する各種マニュアルを作成し、指導普及させてきました。



● 徳島県木造住宅耐震診断マニュアルの作成

耐震診断を行う際の実施方法に関するマニュアルです。このマニュアルを使用し、2004 年度から木造住宅耐震診断事業を実施し、現在も継続中。

● 耐震改修工事事例集の刊行

県内市町村において進められている耐震改修事業の工事事例集と質問に対する回答をまとめたものです。

● 徳島県木造住宅耐震改修マニュアルの作成

耐震改修を行う際の実施方法に関するマニュアルです。このマニュアル上下巻を使用し、2004 年度から木造住宅耐震改修事業を実施し、現在も継続中。

● 木造住宅の耐震診断（事務所協会）

耐震診断補助事業の対象外となる木造住宅について、診断費用を自己負担してもらい行うもの。



リフォーム市場の適正円滑化を誘導し支援してきました

● 住宅リフォーム（安心リフォーム推進事業）の推進

エンドユーザーが安心してリフォームを行えるよう、地域におけるよりきめの細やかな情報を得られることを目的に 2006 年度から実施。

事業内容：

徳島県リフォーム推進協議会の設立準備、エンドユーザー向けパンフレットの作成・配布、エンドユーザー向け説明会、講演会の開催、エンドユーザー向けワークショップの開催、住まいスクールリフォーム版の継続実施、相談会の開催、設計者・施工者向け講習会の開催、協議会ホームページの作成

● 住宅リフォームマスタープランの刊行

県独自の住宅リフォームに係る実態を把握し、課題や問題点を洗い出し、徳島県の住宅リフォームの目指すべき方向を明らかにしました。

● リフォーム相談会（建築士会）

主に徳島県建築士会が行ってきた相談会。2003 年度から毎月 2 回の相談会を、2006 年度から 2007 年度には、安心リフォーム相談所として毎月 4 回の相談会を開催しました。

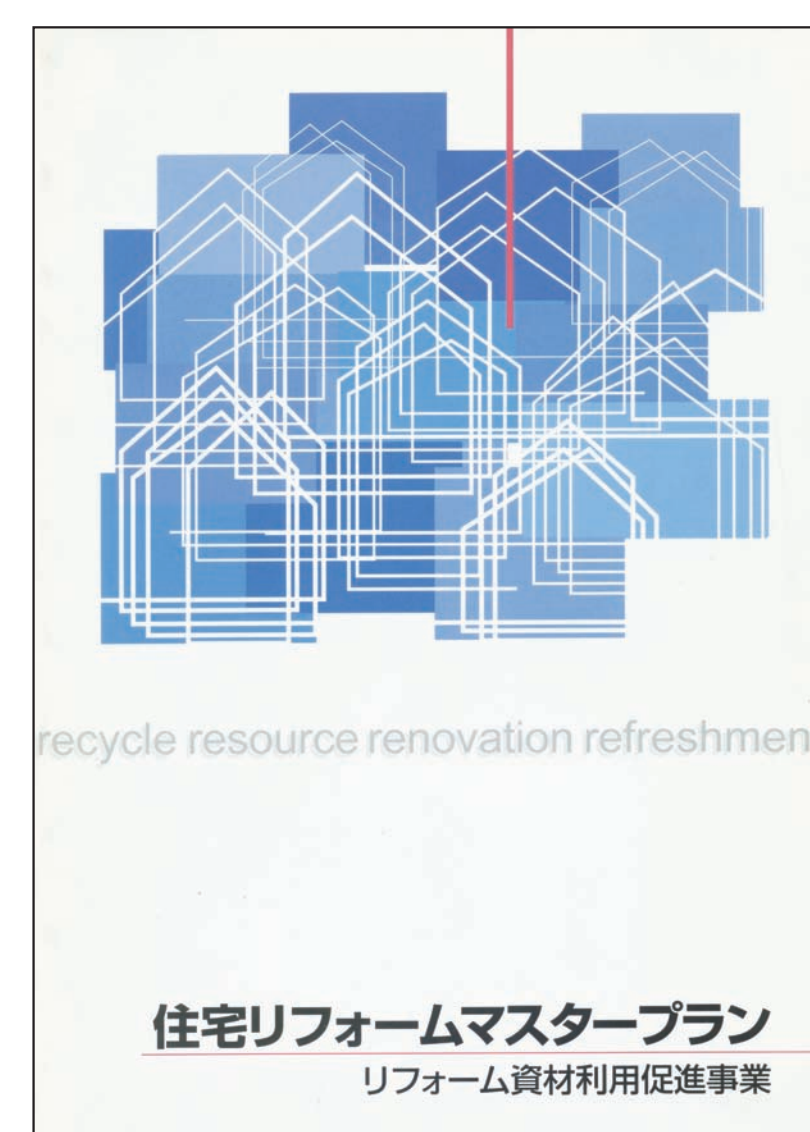
● ゆとりある住生活フェア・増改築フェアの開催

徳島、鳴門、阿南、川島の県土木事務所、建設センター、シビックセンター、そごう、藍場浜公園など各所において実施されたもの。相談員も建築関係者にとどまらず、司法書士、行政書士、税理士、土地家屋調査士、不動産鑑定士など多数が参加しました。



● 増改築出前診断の実施

リフォームを計画している診断希望者から申し込みを受け、そこに大工さん等を派遣して診断、設計、見積、工事を行いました。



一般ユーザーを対象とした講習会や相談会を続けてきました

● とくしま住まい相談室

徳島市役所内で住宅に関する相談会を行ってきました。1985 年度から月 2 回、93 年度からは 1 回のペースで続けられています。

● 住宅相談会（建築士会）

主に徳島県建築士会で行ってきた相談会です。
住宅全般の相談を受け付けています。

● 耐震相談所（事務所協会）

徳島県内の建築物の耐震診断から耐震改修を行う際の窓口にもなっています。
毎週 1 回の開催。

● 安心の住まいづくりサポートシステム相談（事務所協会）

一般ユーザーが安心して住まいづくりにアプローチできるように支援するシステムを紹介し、個別に相談にのっています。

● 住まいスクールの実施

住まいに関する様々な分野の専門家との対話により、住まいに対する考え方を学んでもらう講習会。木の住まいを中心に多方面のテーマが用意されました。

テーマ：

間取りの工夫、高齢者に配慮した住宅、ローコスト住宅、住まいと健康、理想の台所、住まいの収納、住まいのインテリア、住まいの省エネルギー、住まいの照明、地震に強い住宅、工事のポイント、家と木と山の話、住まいの融資、住まいの税金、住まいの法律、現地見学会

● 「木を見て、山みて、家をみて」バス見学会の実施

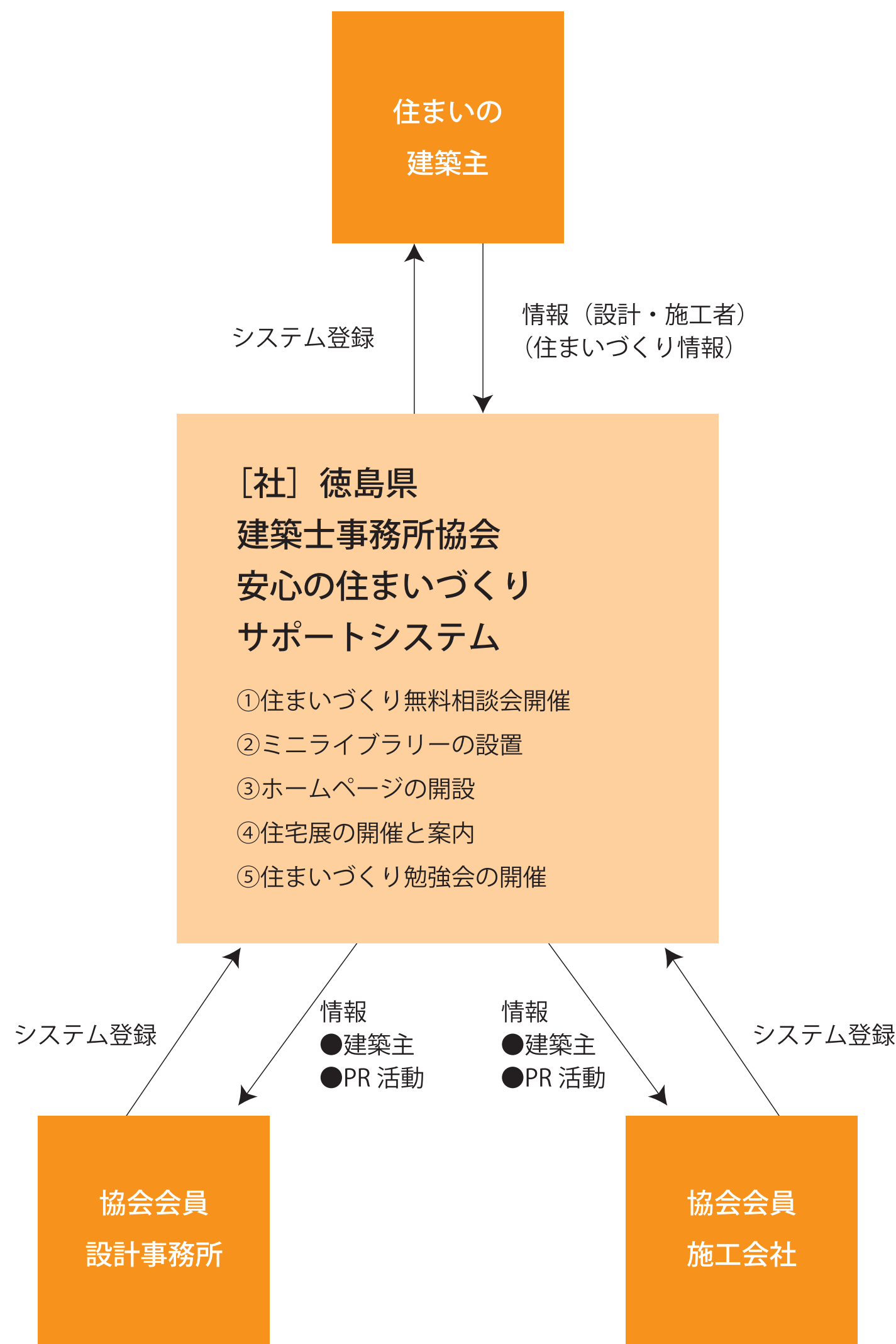
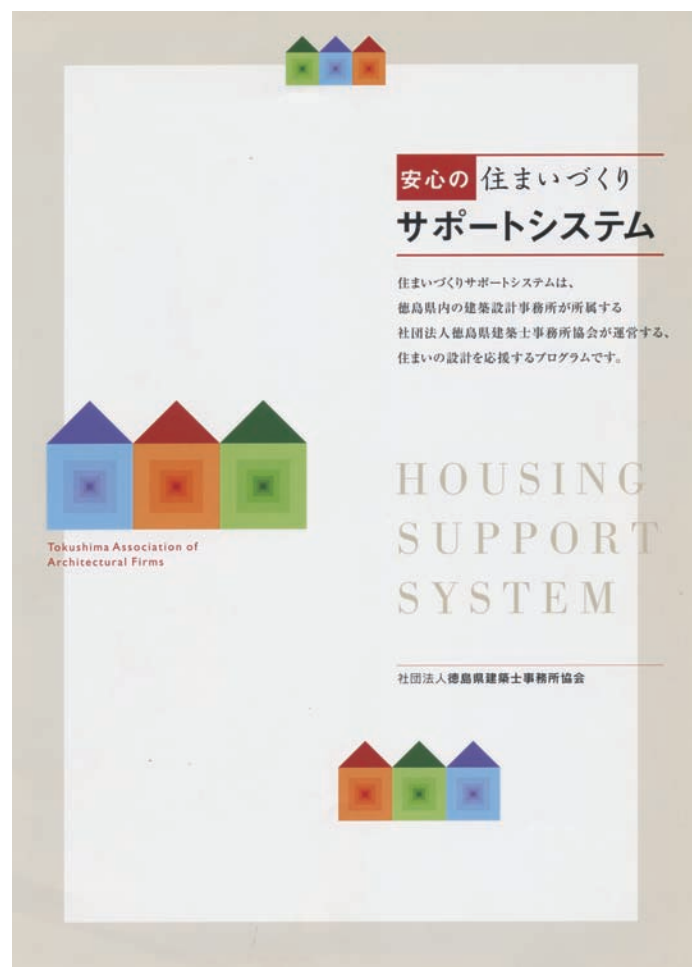
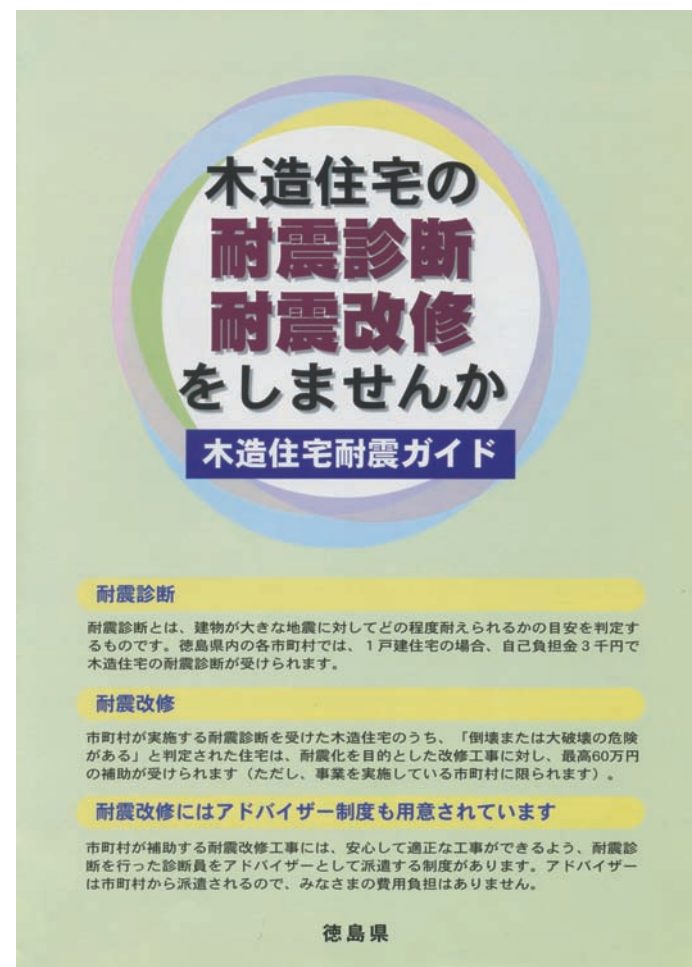
木造住宅の生産・供給システムに関する正しい知識を一般エンドユーザーに理解してもらうため、木材の伐採現場から製材、住宅建設現場までの見学会を実施しました。

● 住まいの知恵シリーズの刊行

住まいづくりに関する適正な情報を分かり易く的確に伝えることを目的としてこのシリーズは発刊されました。

シリーズタイトル：

住宅性能保証制度、住まいの融資一覧、高齢者の生活に配慮した住宅、リフォームアドバイス、住まいの大敵・しろあり・ダニ、住まいの省エネルギー、間取りのくふう、住まいの表情を豊かに



伝統的な住宅の調査、研究を行ってきました

● とくしまの木造住宅の刊行

徳島県における伝統構法住宅について調査・記録し、まとめたものです。木工事編とその他工事編からなります。

● 茅葺き民家実態調査（建築士会）

県内に現存する茅葺き民家を調査したものです。外観調査、間取り調査の他無作為抽出の民家に対するヒアリングも行っています。



木を使った建物づくり街づくりを提案してきました



● 特殊木造住宅建設のための手引書の刊行

（大型木造建築物入門）

大型木造建築物、特に 3 階建ての木造建築物の手引き書として刊行。これをもとにした講習会も開催されました。

● 木造公営住宅建設の推進（木造公営住宅のすすめ）

木造公営住宅を推進するための手引き書。木造公営住宅の良さ、県内の事例、建設の進め方などをまとめたものです。

● とくしま優良木造住宅フェアの開催（しらさぎ台団地）

住宅団地の 1 ブロックに集団的に良質な木造住宅の街なみをつくり、多くの人に木造住宅の良さを知ってもらうことを目的に実施された事業。木造住宅に加えて、外構に生け垣や木製の門、塀、棚などを設け、うるおいのある住環境を実現しました。

● ウッドタウンプロジェクト

（竜王団地、羽ノ浦あすみが丘団地）

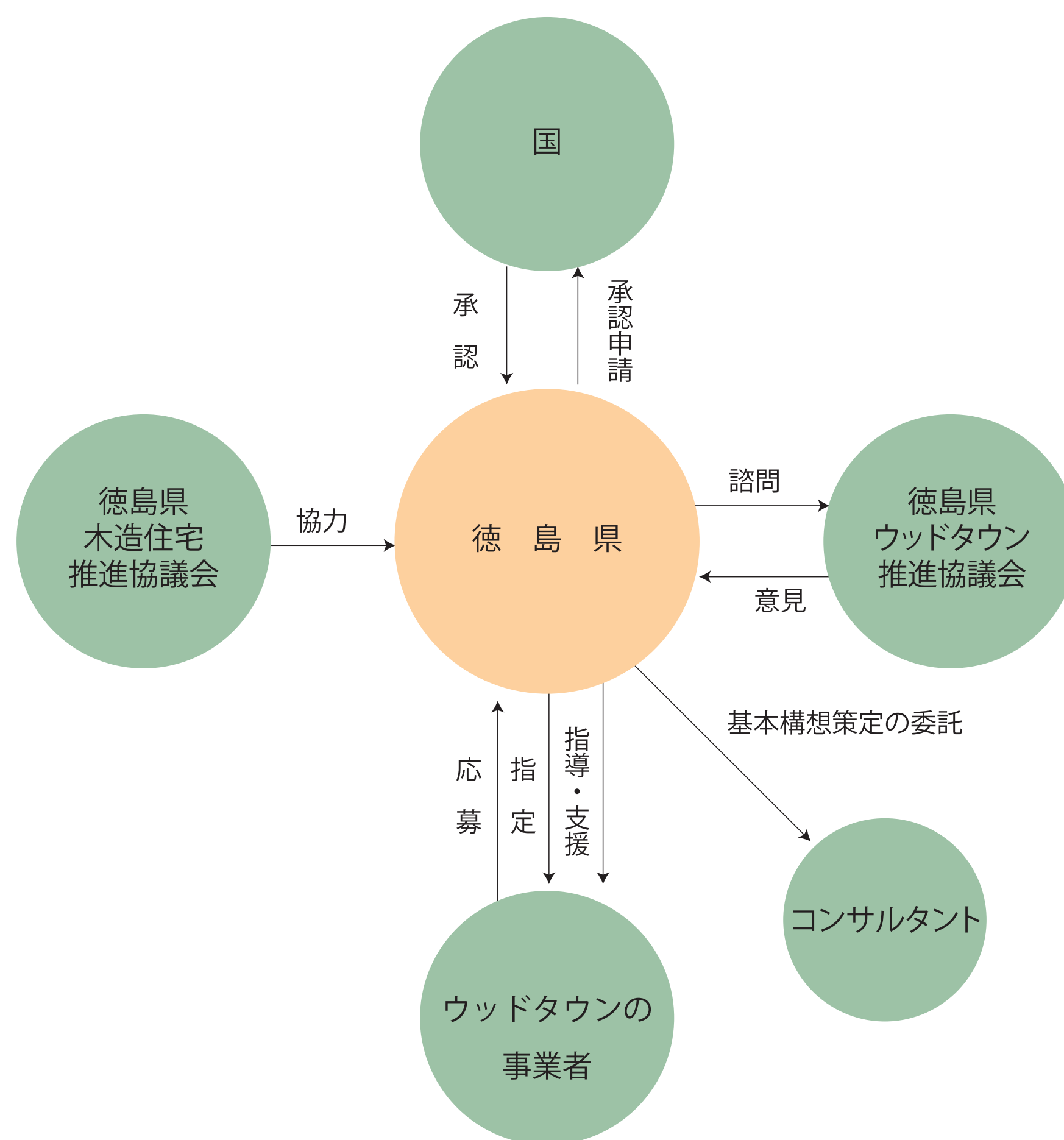
多様な住宅需要に対応するため、また良質な木造住宅の建設、良好な住環境の形成を図るために行われたプロジェクト。徳島を代表する 2 つの団地で実施されました（計 44 戸）。

● その木にさせる提案事業

（東祖谷山村龍宮崖公園、上勝町福原中学校、那賀川町道の駅）

木造施設や木造住宅団地などの提案希望のある市町村や民間に対して、目的に合ったコンセプトやアイデアを提案したもの。大きく 3 期に分けて実施されました。

徳島県ウッドタウンプロジェクトの実施体制



● 木の香るまちづくり提案事業

（神山町ペガサス「天馬」の郷、勝浦町フールツタウン勝浦、松茂町長原児童館）



● 新木の香る街づくり提案事業

（日和佐町道の駅、土成町御所小学校）



住教育や住意識の向上啓発事業を行ってきました

●「わたしと木造住宅」論文・作文コンクール

自分と木の住まいの関わりをテーマに、小中高生には作文を、一般の方には論文を書いてもらいました。小中高生からは 200 名、一般からは 38 名の応募がありました。

●「将来住みたい家」絵画展（建築士会）

徳島県建築士会美馬支部が郡内の幼稚園児、小中高生を対象に行っているコンクール、絵画展です。現在も継続されています。

●「わたしと木造住宅」絵画・写真コンクール

1985 年に実施された絵画・写真コンクール。絵画は 85 点、写真は 27 点の応募がありました。

●「住まいの手入れ 88」の刊行

住まいをいつまでも新鮮で、住み心地の良い状態に維持するために必要な手入れについてまとめた冊子。住まい手自身ができる簡単なものを中心に、住まいの安全チェックポイントなども増補されました。

● 木と山と家の絵本「ぼくのゆめのふしぎの木」

幼児と小学校低学年を対象に、木造住宅に関心を持ってもらおうという目的で刊行されたもの。できあがった絵本は、県内のすべての幼稚園、小学校、公立図書館、施設図書館に寄贈されました。

● 木と山と家のビデオ「ボクの不思議な旅」 制作・作文コンクール

幼児、小学校低学年の住教育のために作られたもの。ビデオを贈った小学校のうち、85 校から 3360 点の作文コンクールへの応募があり、優秀賞、優秀学校賞などの表彰を行いました。

● 木と山と家の本の収集

日本で出版されている住まいや街について書かれている絵本を収集して、出版状況や内容等の調査分析をおこないました。



● 木造建築模型作成学校助成事業の実施

県内の建築科をもつ工業高校の生徒さんたちに協力してもらい、とくしまの家・120 などの模型の製作を行いました。

● 空間遊具の製作（建築士会）

徳島県建築士会の創立 40 周年記念として行われた「空間遊具コンテスト」に協賛して、木材を素材とした創作遊具の材料費助成を行いました。



おっきな木、ちっちゃな木。
ひろひろ木、ふっとい木。
いろんな木が、いっぱいあつまる
ふしぎの森に、ぼくらは、ついたんだ。

「ナッキー、ここに木の王さまが、すんでいるの？」
チイコは、ふあんそうに、ぼくにたずねた。
「きっと、そうだよ。さあ、もう、ひといきだよ」
ぼくは、みんなを元気づけた。



各種制度を普及、促進するための支援を行ってきました

良好な住宅を建設するために設けられた各種制度、補助事業等を普及、推進するために様々な支援を行ってきました。

● 住宅性能表示制度

● 住宅性能保証制度（建築士会）

● 長寿命木造住宅制度

● 森を気づかう住宅資金貸付制度

● 木になる建物推進資金貸付制度

● その他

